

特別コース 「ソフトウェア品質保証の基礎」 2014年度 活動報告

主査 : 相澤 武
副主査 : 真野 俊樹
発表者 : 岩井 慎一
: 福原 礼伊爾
: 片桐 章宏
: 清水 光
: 高田 真吾
: 土屋 治世
: 長尾 隆守
: 細川 雅子
: 津川 善夫

(株)インテック
SQA総合研究所
(株)テンソー
(株)インテック
旭化成(株)
TIS(株)
(株)メタテクノ
SCSK(株)
フリヂストンソフトウェア(株)
NECソリューションイノベータ(株)
(株)小田原機器

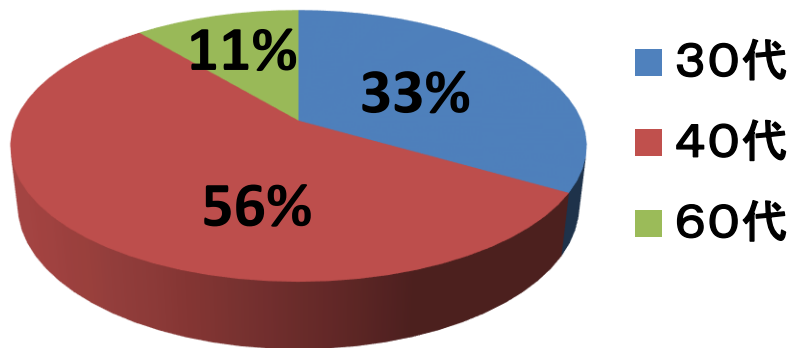
目次

- 1. メンバー紹介**
- 2. 参加目的**
- 3. 活動概要**
- 4. 活動成果**
- 5. 次のステップに向けて**

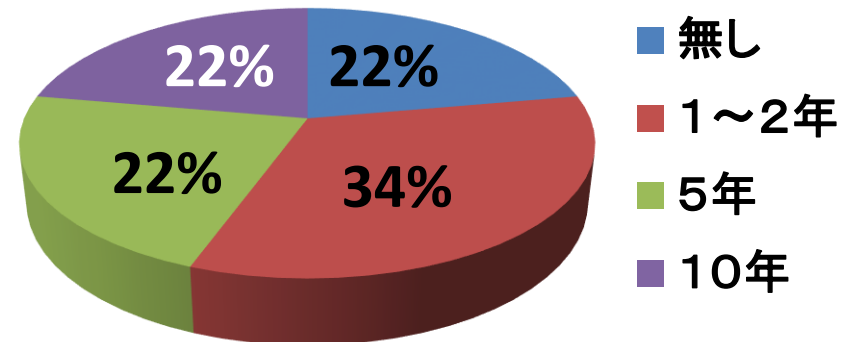
1. メンバー紹介

1. メンバー紹介①

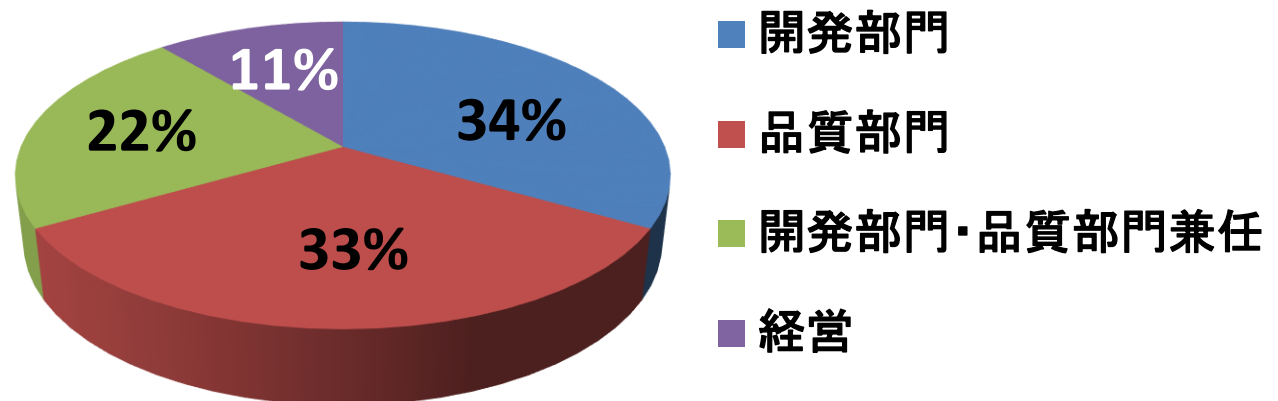
年 齢 層



品質保証の経験年数



所 属 部 門



1. メンバー紹介②

名前	業務内容
岩井	自動車部品製造、熱機器製品ソフトのプロセス改善と品質保証（監査）
福原	部内品質担当、IT資産ツール（パッケージ）導入担当
片桐	新規事業開発の研究・開発におけるソフトウェア品質改善活動の推進
清水	旅行会社基幹システム保守・開発及びWebサイト保守・開発
高田	会社全体における品質向上施策を提案と普及啓蒙
土屋	部門内QMSの運営、社内標準の推進、成果物品質評価 等
長尾	ISO・ISMS規程管理、内部監査、CS調査、社内標準・改善の推進
細川	社員への技術支援、教育の実施
津川	経営全般（元技術部長歴任）

2. 参加目的

2-1. 参加への思い

- 知識・技法を習得し**自分の考えを持てる**ようになりたい!!
- 立場違いによる**品質に対する意識の格差を埋める**能力を身に付けたい!!
- **現場に役立つ**ことを持ち帰り**貢献したい**!!
- **旧態依然とした習慣**から**あるべき姿**に変えたい!!

2-2. 上司からの期待

- 知識・技法を習得し**新たなもの**を持ち帰る**!!**
- 組織の**先駆者・指導者**となり、品質向上に貢献できる**人財**に**!!**
- 視野や見識を広げ、**包括的視点**で品質を判断できる**人財**に**!!**
- 交流による**人脈作り****!!**

3. 活動概要

- 3－1. 特別コースの狙い**
- 3－2. 活動の流れ**
- 3－3. 事前宿題**
- 3－4. 講義**
- 3－5. 講義（合宿）**
- 3－6. グループ討議**
- 3－7. アフター活動**
- 3－8. 事後宿題／自社への展開**

3-1. 特別コースの狙い

- 経験豊かな講師による講義から、
品質保証の基礎と実際を学ぶ
- 参加者同士のディスカッションから、
新たな気づきを得る
- いかに活用するかを考え、**自社へ展開する**

3-2. 活動の流れ

事前宿題



講義



グループ討議



アフター活動



事後宿題



自社への展開



3-3. 事前宿題

- 講義のテーマに関する自社の取り組みや課題を纏める



3-4. 講義

- 品質管理、改善、技術を基礎から実際まで**広く学ぶ**

開催月	テーマ	講師
5月	ソフトウェア品質管理概論	香村 求 氏(システムSWAT)
6月	品質マネジメントシステム	加藤 秀樹 氏(東芝ソリューション)
7月(合宿)	品質データ分析技術	真野 俊樹 氏(SQA総合研究所)
9月	ソフトウェア生産管理技術	菅田 直美 氏(NEC)
10月	品質改善／改革技法	金子 龍三 氏(プロセスネットワーク)
11月	レビュー技術	木原 均 氏(日立製作所)
12月	テスト技術	湯本 剛 氏(日本HP)
1月	組込みソフトにおける品質保証	中村 幸次 氏(オムロンソフトウェア)
2月	ソフトウェア品質管理の実際	稲葉 豊茂 氏(富士通)

3-5. 講義（合宿）

- 通常より時間をかけた講義（Total 5.5時間）
- PCを使用しての演習（個人/グループ）

Excelツールで
抽出バグの分析
をやってみよう！

テスト工程で
何件バグを検出
すればいいの？

テストは終了して
いいだろうか？

改善活動の
効果は？



3-6. グループ討議

- ・ 講義のテーマに関する**自社の取り組み事例を紹介**
- ・ 2グループ(4～5名)に分かれ、テーマに関して**意見交換**
- ・ 各グループで討議された内容をまとめ、**グループ間で共有**

主査/副主査からアドバイスが貰える！

3-7. アフター活動

- ・ リラックスした雰囲気では**現場の最新事情**を発表する
- ・ ここでしか聞けない**ホンネトーク!!**

発表月	テーマ	発表者
9月	Automotive SPICE®を通したSEPG/SQA活動の定着	岩井
10月	NECソリューションイノベータにおける ソフトウェア生産革新活動の取り組みについて	細川
12月①	部署とJenkinsと私	片桐
12月②	パッケージソフトウェア開発部門が取り組む品質管理の現場	福原
1月①	Redmine活用事例	清水
1月②	品質管理への全社的取り組みと現場のプロセス改善活動	土屋
2月①	自社の品質改善活動2014	高田
2月②	BSWの業務標準化 ～みんなに使って貰うために～	長尾
2月③	当社の組込みソフトウェアの歩みと現状	津川

3-8. 事後宿題/自社への展開

- 講義・討議を振り返り、**気づいた点をまとめる**
- 得た知見をもとに、**いかに自社で活用するか**を考えて実践する



4. 活動成果

4. 活動成果①

成果1. データによる分析と評価の重要性がわかった！

計れないものは
管理できない

集めたデータは
必ず使う



データは
タイムリーに
使う

- 感覚だけでなく、データで説明するようになった
- データに基づき改善点を伝えるよう組織ルールを変更
- 数値＋時系列でとらえる運用を開始（例：バグ曲線を表示するようにRedmineのpluginを改良）

4. 活動成果②

成果2. レビューの重要性を再認識した！

レビュー効果を
高める秘訣！

レビューで陥りや
すいポイント！

レビューの技術

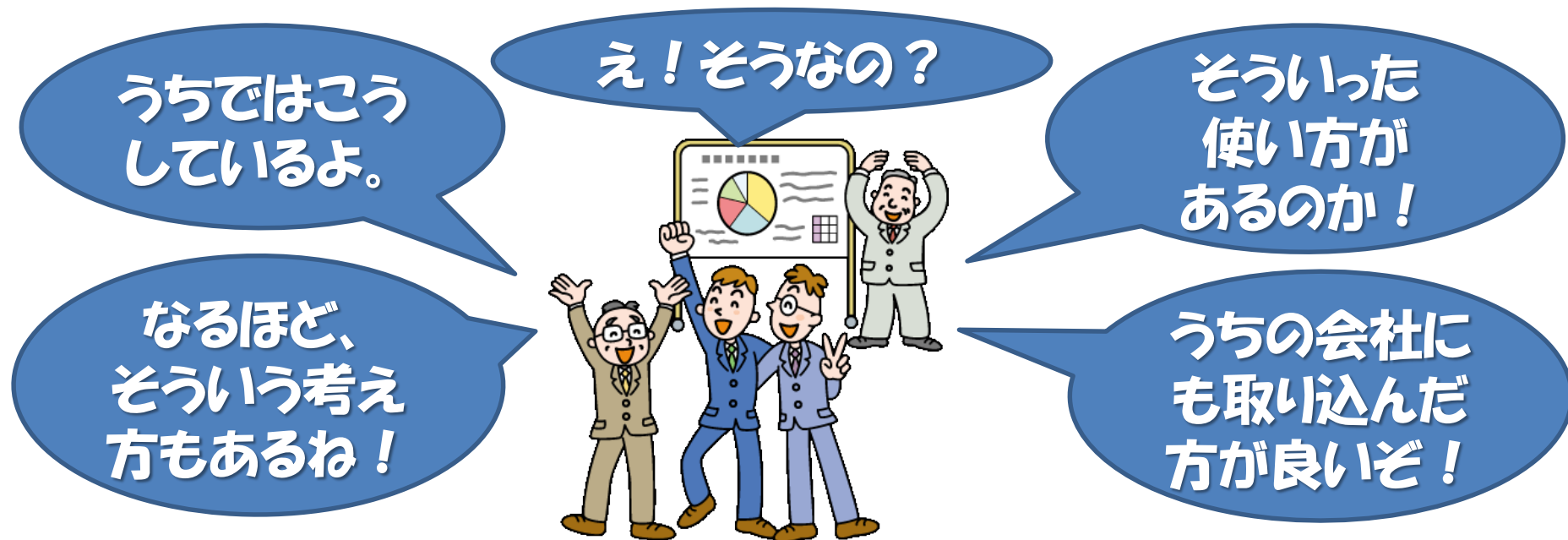
レビューの評価



- レビューに品質担当が参加するルールに変更した
- 社内でレビューの心得を展開した
- レビュー効果の評価を開始した

4. 活動成果③

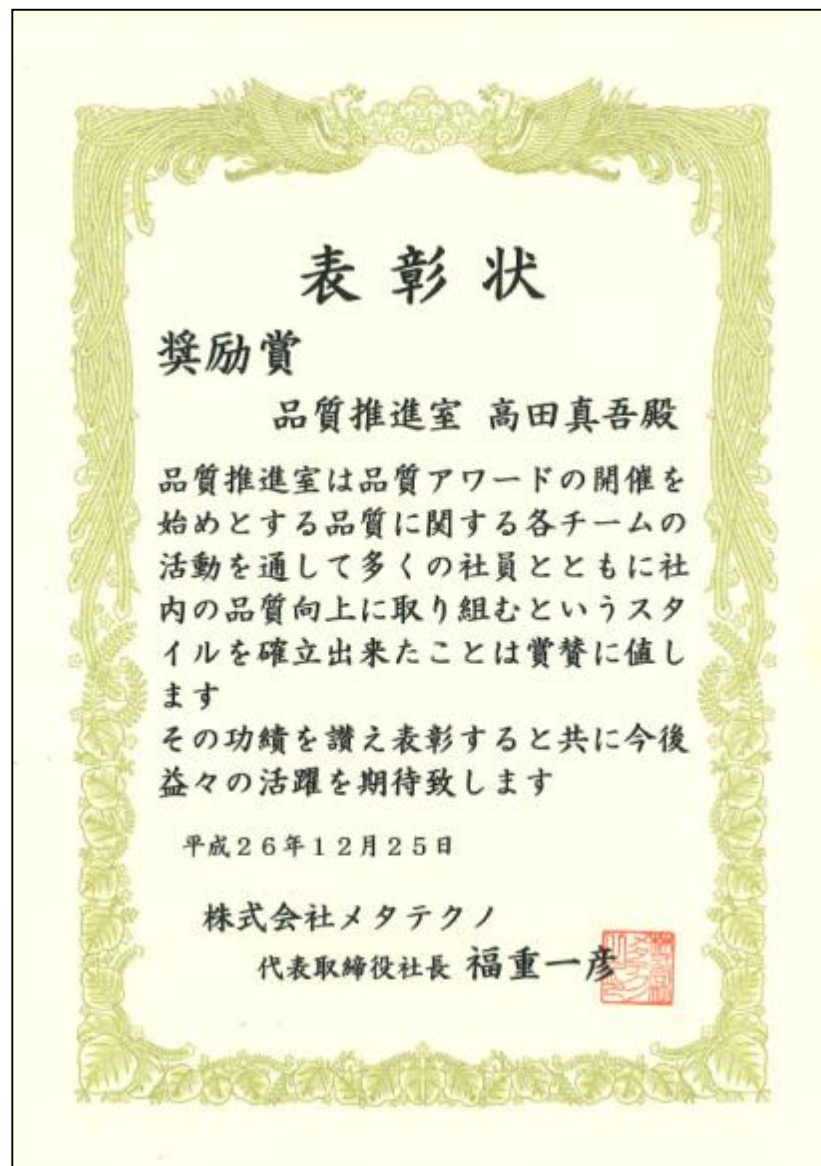
成果3. 社外で相談できる仲間ができた！



- 自社の良い点と改善点が見えてきた
- 自分が何を知らないのかを知ることができた
- 問題を共有でき、勇気づけられた

4. 活動成果④

成果4.
参加メンバーの1人が
研究会参加期間中に
結果を出した!!



5. 次のステップに向けて

～今後の進む路～

5. 次のステップに向けて①

数値・統計 プロセス

利用者 仕組み 再構築
運用者 ツール

自主自律 ノウハウ
コンサルタント 失敗体験談

レビュー



5. 次のステップに向けて②

- 今後の進む路は... **A → B → C → D !**

Acceleration – 今を「加速」させ

Bridge – 相手との「架け橋」になり

Challenge – 新たな「挑戦」を試み

Dream – 「夢」を掴む

5. 次のステップに向けて③

- Acceleration – 今を「加速」

- 同志がいる確信 → **より早くより強く**

- Bridge – 相手との「架け橋」

- 基準・手順書の**使いやすさ**
- **ノウハウ**や**失敗経験**を活かせる仕組み作り
- 品質を定量的に把握し**目標値**を提示

- Challenge – 新たな「挑戦」

- 単なる監査でなく**コンサルタント**

5. 次のステップに向けて④

• Dream – 「夢」を掴む

- 品質を**自社の強み**にできるようにする！
- **自主自律**な品質改善により
利益を好循環で生む**スパイラル**を作る！
- ソフトウェア開発を幸せにすることで

世の中を幸せにするぞ！

ありがとうございました